

平成28年度行政評価シート【個表】

平成 28 年 6 月 30 日

評価対象事業	評価者	ごみ減量対策課担当課長 内海 春信
環境-06 ごみ資源化事業	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務	主管課 ごみ減量対策課(資源循環課) 関連課
総合計画上の位置付け	分野	生活環境
	施策の方針	3Rの推進・ごみの適正処理

1 事業の目的

対象	市民等
意図	廃棄物を適正に処理し、循環型社会の形成を目指すため。
効果	ごみの発生抑制及び減量・資源化が図られたことにより、循環型社会が形成される。

2 平成27年度に実施した事業の概要

資源物やごみを品目別に分別し資源化を推進した。
 今泉クリーンセンターに配備した自走式コンベアごみ投入検査機により搬入物検査を実施し、事業系ごみの適正な分別指導を行った。
 市民及び事業者から排出された植木剪定材を、委託業者の中間処理施設まで運搬し、委託業者の堆肥化事業場において堆肥化し、生成した堆肥を市民及び農家に配布した。

3 事業費等基礎データ

データ区分	26年度決算	27年度決算	データ区分	28年度当初予算	備 考
人口等のデータ	人 口 世 帯 数 事業の対象者数	177,464人 80,368世帯	人 口 世 帯 数 事業の対象者数	176,869人 80,928世帯	・各年3月31日 (住民基本台帳)
運営資源状況	決算値(千円) 国県支出金 地方債 その他 一般財源 人員配置数 人件費(千円)	585,477 278,528 306,949 4.5 35,790	当初予算(千円) 国県支出金 地方債 その他 一般財源 人員配置数 人件費(千円)	675,133 428,279 246,854 4.5 36,633	
事業費運営	総事業費(千円) 市民1人当りの経費(円) 対象者1人当りの経費(円)	621,267 3,501	総事業費(千円) 市民1人当りの経費(円) 対象者1人当りの経費(円)	711,766 4,024	

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか 関連・類似事業との統合はできないか	1. ある 2. 統合に向けた検討は可能
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか 事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい 今後市が実施すべき事業か	3. 変わらずにある 3. 廃止・休止による影響は大きくある 5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか 事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である 3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	○-負担導入済 ○-2. 適正な受益者負担を導入している
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	△-協働未実施 協働実施済の場合のパートナー
事業内容の方向性	☐ a: 事業内容を見直す ☒ b: 事業内容は現状通りとする ☐ c: 事業を休止又は廃止する ☐ d: 他事業と統合し、本事業は廃止する	見直しの種類 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ その他 見直しの内容 事業へ統合
予算規模の方向性	☐ A: 予算規模を拡大する ☒ B: 予算規模は現状維持とする ☐ C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由 入札の導入や新規業者の開拓、事業の効率化などにより、予算規模の縮小を目指しているが、資源化事業は市場の影響を受けるため、確実に縮小することは困難である。
総評(評価に対する考え方、根拠等)	ごみの資源化業務については、入札の導入や新規業者の開拓、事業の効率化などが達成できることによって、委託料について削減の可能性があるので、削減余地ありとした。 平成28年度においても、入札の導入など経費削減となる可能性がないか検討していく。	

平成27年度事業実施にあたっての課題 (前年度未解決の事項を含む)	平成27年度の年間ごみ焼却量29,923tを達成すること。	
課題解決のために行った平成27年度の取組	事業系ごみの分別徹底を図るため、ピット前検査強化による指導の実施や、食品リサイクル法による食品関連事業者を対象とした食品の減量・資源化についての訪問指導や啓発などを行った。	☐ 解決 ☐ 一部解決 ☒ 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	平成28年度の年間ごみ焼却量32,273tを達成すること。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	1人当たりのごみ排出量(平成26年度 ※国報告数値)								
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績	1031g	894g	820g	894g	1015g	926g	988g	911g	977g

比較事項	リサイクル率(平成26年度 ※国報告数値)								
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績	48.2%	30.1%	21.9%	24.9%	23.8%	33.5%	42.0%	38.8%	43.5%

比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	人口1人当たりのごみ排出量は県内では4番目に多くなっているが、リサイクル率は高く、48.2%は県内トップである。
----------------------	--

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	ごみの焼却量の削減					単位	トン	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30		H31		
平成26年度末に今泉クリーンセンターが焼却を停止したため、焼却量の削減は安定的で着実なごみ処理体制の構築に必要である。	目標値	30,721	29,923	32,273						
	実績値	37,284	34,882							
	達成率	82.4%	85.8%							

指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30		H31		
	目標値									
	実績値									
	達成率									

指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30		H31		
	目標値									
	実績値									
	達成率									

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	
-----------------------	--

● 事業に関する特記事項

☐ 第3期基本計画前期実施計画重点事業	☐ 19節で予算措置している補助金が含まれる事業
--	---